

健やかなキャンパスライフのためのアンケート

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

薬物とエイズに関する回答を掲載しました。

正しい知識と理解を深め、楽しい学生生活を送りましょう。

薬物Q&A

・持っているだけなら罰せられない？

日本における薬物規制に関する法律は、覚せい剤取締法、麻薬及び向精神薬取締法、あへん法、大麻取締法などがあります。いずれも、所持について罰則を定めており、懲罰刑など厳しく罰せられます。

・一時的に副作用があっても後遺症はない？

幻覚や妄想などの精神障害、激しい筋肉の痛みや嘔吐などの苦しみから精神異常をきたす場合もあります。

生殖機能の障害による不妊・流産・精子の異常なども起こります。

また、家族の問題（家庭内暴力・家族崩壊）や学生生活の問題（退学）など自分だけでなく周囲に及ぼす影響は深刻です。

・一回使っただけでは死亡することはない？

薬物の使用量によっては、一度の使用で「急性中毒」となり、死に至るケースもあります。

・使っていても、いつでもやめることができる？

薬物の使用を繰り返すと「依存」という慢性的な精神的・身体的状態に陥ってしまいます。

一度薬物依存症になってしまった脳は、完全には元の状態に戻らないと考えられています。

いいかえれば、一回も使用しなければ絶対に依存症に陥ることはありません。

・一度だけなら、売人から脅されたり強要されたりすることはない？

一度だけでも、犯罪にまきこまれたりする可能性があります。

・安全なやせ薬として応用できる？

絶対に薬物を使用してはいけません。

覚せい剤などの薬物は、中枢神経系に作用して、一時的に心身をだまして食欲や眠気を

なくすだけです。作用がなくなると、異常に食欲が強まったり強い疲労感に襲われます。



エイズQ&A

エイズとは、HIVウイルス（ヒト免疫不全ウイルス）に感染することによって引き起こされる病気の名称で、

「後天性免疫不全症候群」といいます。症状が進行すると、免疫力が下がり、

健康な人なら何でもない細菌やウイルス、カビなどに抵抗できなくなり、重い病気にかかりやすくなってしまいます。

・HIV感染者数は日本では減少傾向にある？

日本国内のHIV感染者は増え続けています。

H23年6月の日本国籍の累計数はHIV感染者10581人、エイズ患者は4937人にのぼります。

また、HIV感染者は20歳代、30歳代に集中しており、エイズ患者では25歳以上に幅広く分布しています。

・HIV感染は性行為によるものは少ない？

感染ルートは◆性行為感染◆母子感染◆血液感染の3つがありますが、約9割が性行為による感染です。

・治療薬の進歩により、AIDSを発症することはない？

今のところ、エイズを完治させる薬はありませんが、医療の進歩によりエイズ発症までの期間を大幅に延ばすことが可能になりました。早めに発見して治療を行えば、発症を遅らせ、通常の生活を続けることも可能です。

・コンドームなしでも一回だけなら感染することはない？

エイズを含む性感染症の予防には性行為の始めから終わりまでコンドームを正しく使用した、より安全なセックスの実践が大事です。感染の有無を確認できない相手との無防備なセックスは避けましょう。

また、ピルは避妊のための薬です。性感染症を防ぐことはできません。

・H I V感染者と一緒にプールに入ると感染する？

H I Vは感染力のとても弱いウイルスです。性行為以外の日常生活で感染することはありません。

こんなことでは感染しません

握手・軽いキス

せき・くしゃみ・汗・涙

お風呂やプール

・H I V検査は保健所で匿名・無料で受けることができる？

全国の保健所で、匿名・無料で血液検査を受けられます。H I Vは、感染から血液中に抗体が検出できるまでに6～8週間かかります。検査の前に保健所に相談しましょう。

・性感染症は不妊症の原因になることがある？

性交から上行性に感染し、子宮内膜炎などを起こすことで不妊の原因となります。

また、性感染症にかかっているとH I Vウイルスに感染する危険率が2～5倍高くなってしまいます。

引用：

- ・大学における大麻・薬物問題とその対策 ガイドブック 2010／国立大学法人保健管理施設協議会エイズ・感染症特別委員会
- ・薬物のない学生生活のために～薬物の危険は意外なほど身近に迫っています～／文部科学省・厚生労働省・警察庁
- ・学ぼう防ごう身近なA I D S／監修：(財)エイズ予防財団
- ・成人看護学[9]女性生殖器疾患／医学書院
- ・油断しないで！絶対にNO！！薬物は心のスキに忍び込みます／監修：中野総合病院 精神神経科医 部長 尾崎 茂
- ・A I D S H A N D B O O K 2010／国立大学法人保健管理施設協議会エイズ・感染症特別委員会
- ・A P I - N e t エイズ予防情報ネット | 世界・日本の状況 _ エイズ動向委員会報告